

令和5年度 全国学力・学習状況調査 和泉市調査結果概要

調査について

【調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【調査の対象】

小学校調査：小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年

中学校調査：中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年

【調査内容】

教科に関する調査：小学校調査は、国語、算数・中学校調査は、国語、数学、英語

質問紙調査：児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

【調査実施日】

令和5年4月18日 火曜日

※本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

結果概要

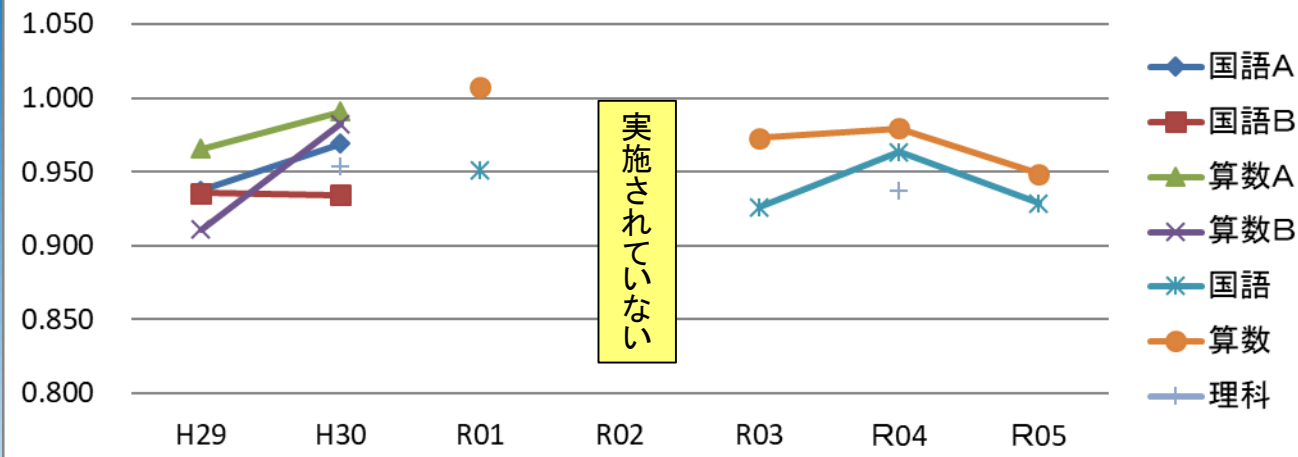
<小学校>

- ・平均正答率については、昨年度と比べて国語・算数ともに低下。全国平均値・大阪府平均値との差が広がった。
- ・無解答率については、国語算数ともに、昨年度を上回り悪化する結果となった。

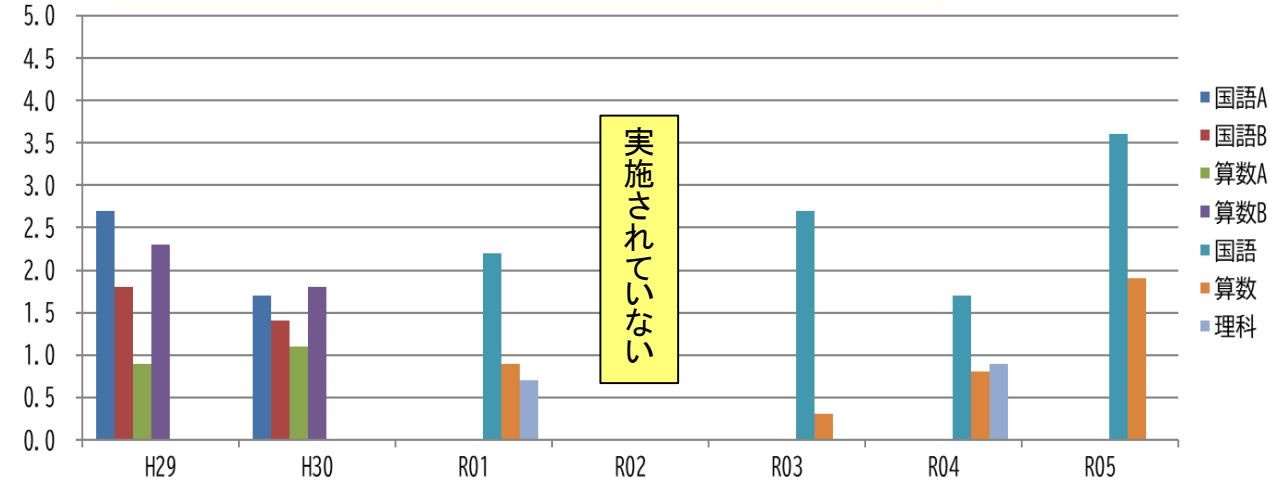
<中学校>

- ・平均正答率については、昨年度と比べて国語・数学ともに低下し、全国平均値・大阪府平均値との差が大きくなった。
- ・無解答率については、昨年度と比べると国語・数学ともに上回り悪化する結果となった。経年比較でも課題である。
- ・英語については、前回実施の4年前と比べると平均正答率が大幅に低下する結果となった。

小学校 H29～R05 正答率(対全国比)



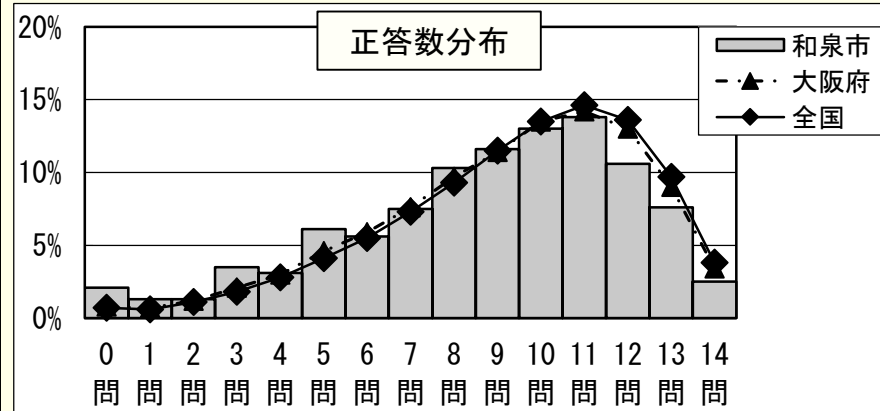
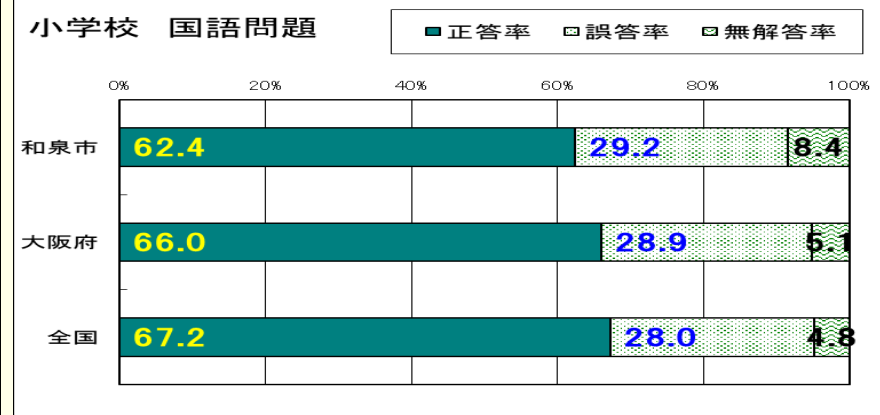
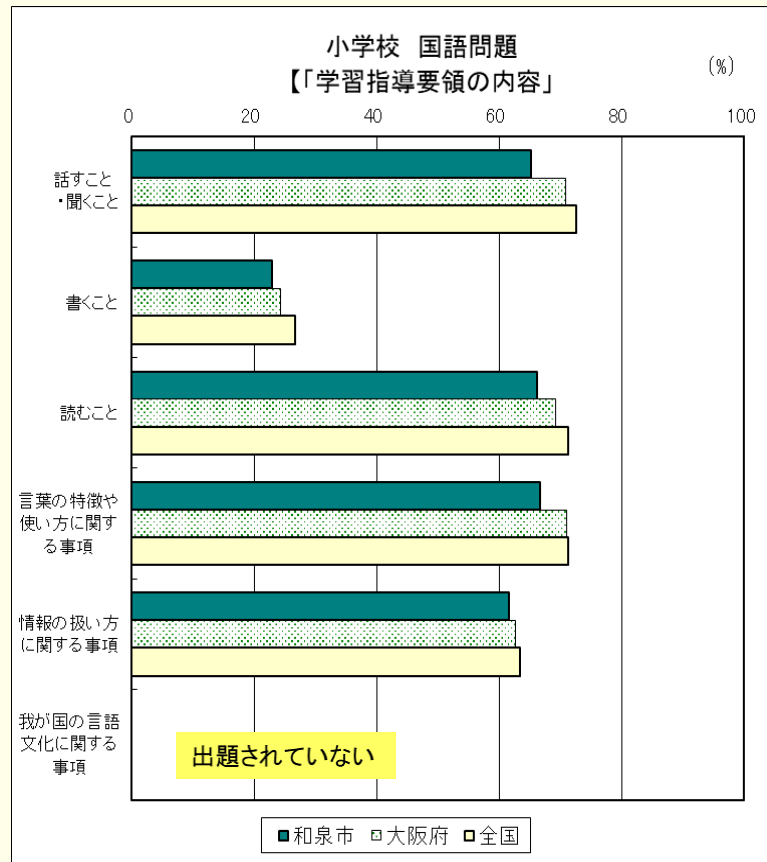
小学校 教科別無解答率(対全国比)経年比較



* 正答率対全国比：市平均正答率÷全国平均正答率
 * 無解答率対全国差：市無解答率-全国無解答率
 * 平成30年度までは各教科A・Bの2区分あり
 * 令和2年は全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施されませんでした。

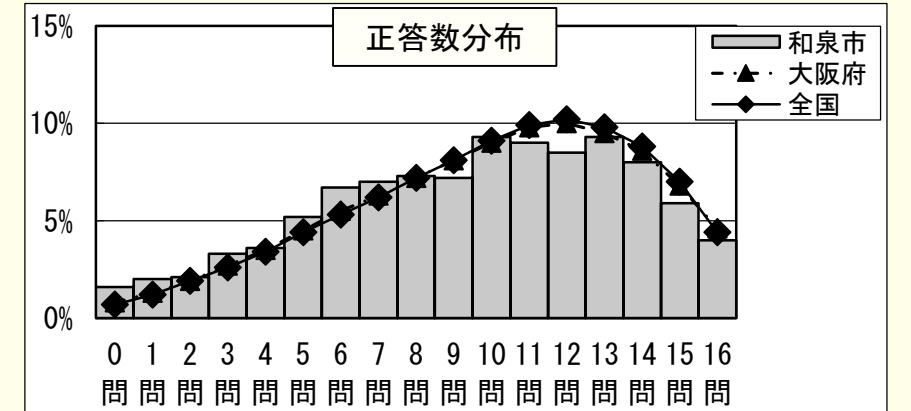
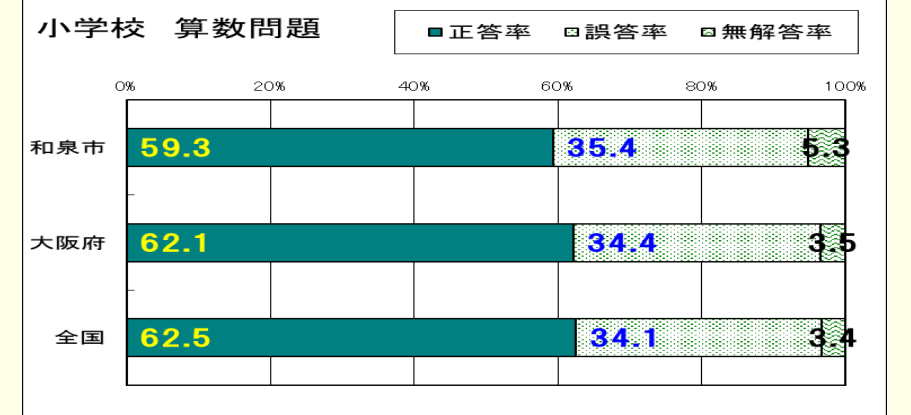
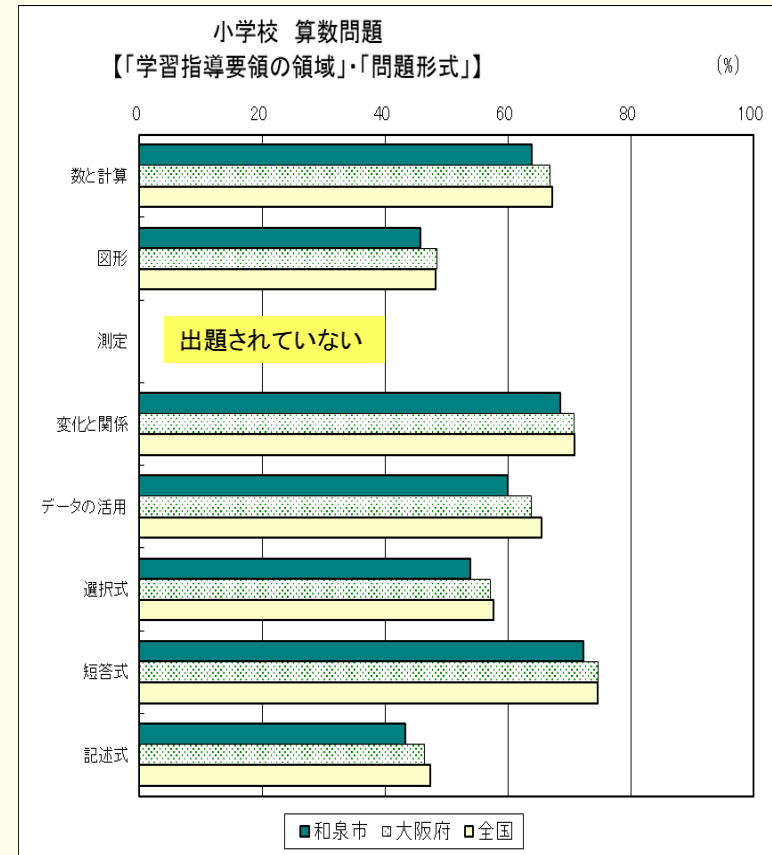
小学校 国語

- 平均正答率は、62.4%で全国を4.8ポイント下回り（対全国比0.929）、府を3.6ポイント下回った（対府比0.945）。
- 過去の調査と比較すると無解答率が高くなっており、課題といえる。
- 「情報の扱い方に関する事項」ではほぼ全国水準となっているが、「書くこと」に課題が残る。特に記述式の無解答率について、全国や府との差が大きい。
- 正答数分布の様子は全国の状況と同傾向であり、和泉市・全国ともに11問を頂点としたやや右よりの山型を描いている。

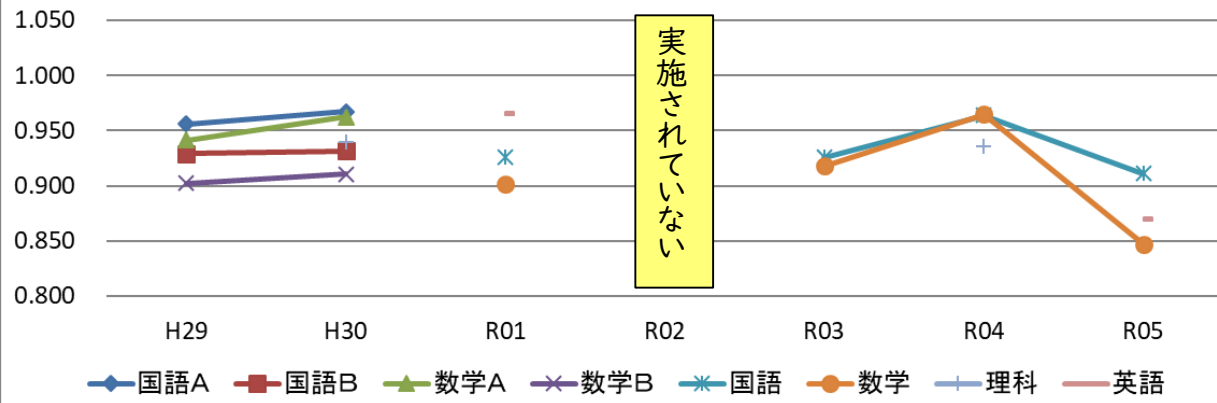


小学校 算数

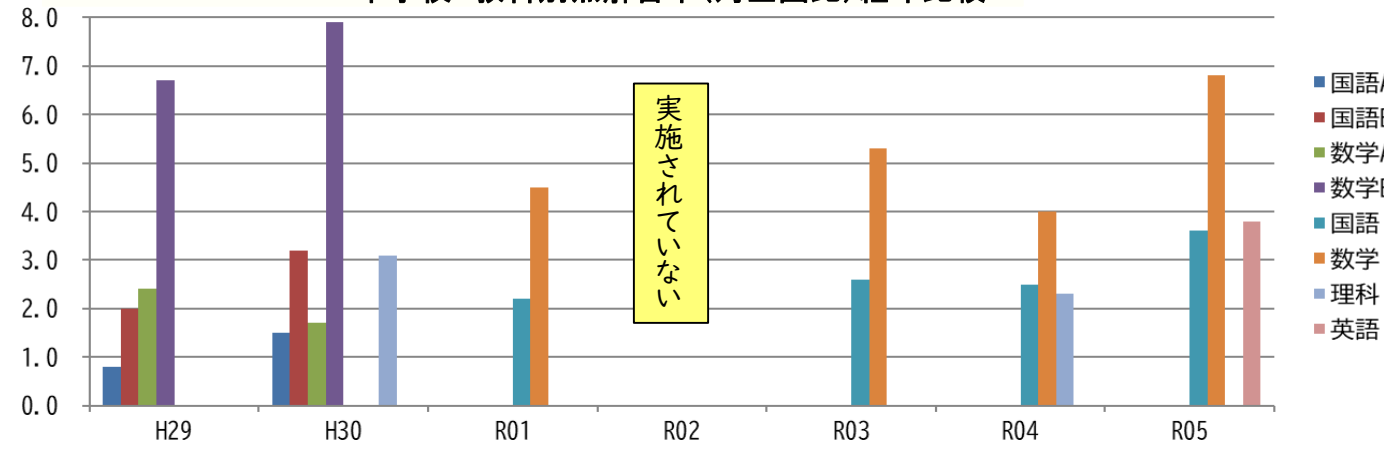
- 平均正答率は、59.3%で全国を3.2ポイント下回り（対全国比0.949）、府を2.8ポイント下回った（対府比0.955）。
- 過去の調査と比較すると無解答率が高くなっており、課題といえる。
- 全国との比較ではすべての領域において平均正答率が低くなっているが、特に「数と計算」「図形」の領域、「記述式」の問題形式では、全国と比較すると数値が低く、課題がある。
- 正答数分布の様子は全国の状況と同傾向であり、和泉市は10問・13問、全国は12問を頂点とした右よりの山型を描いている。



中学校 H29～R05 正答率(対全国比)



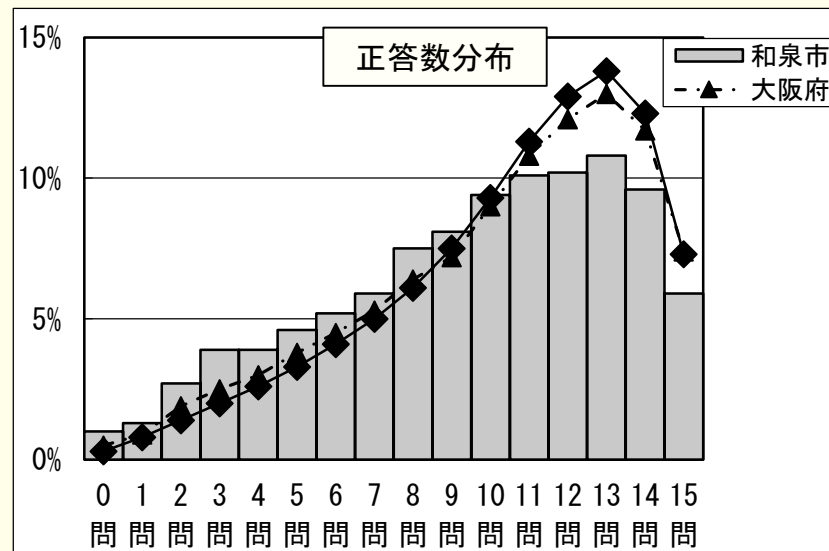
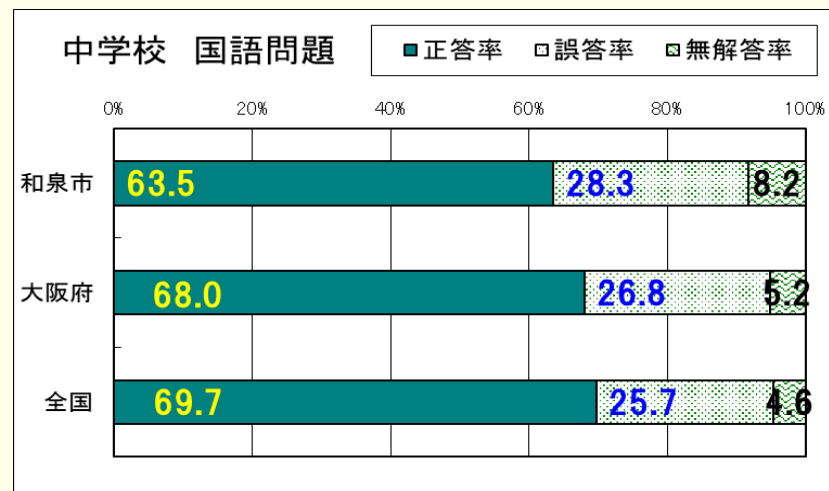
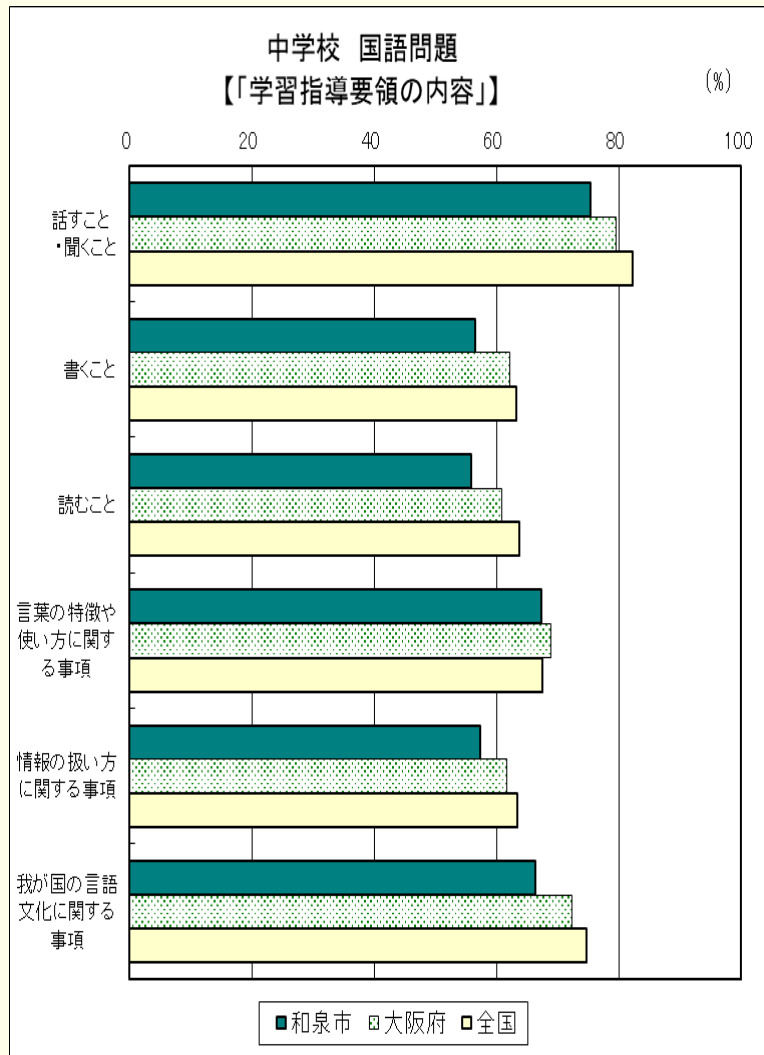
中学校 教科別無解答率(対全国比)経年比較



- * 正答率対全国比：市平均正答率÷全国平均正答率
- * 無解答率対全国差：市無解答率-全国無解答率
- * 平成30年度までは各教科A・Bの2区分あり
- * 令和2年は全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施されませんでした。

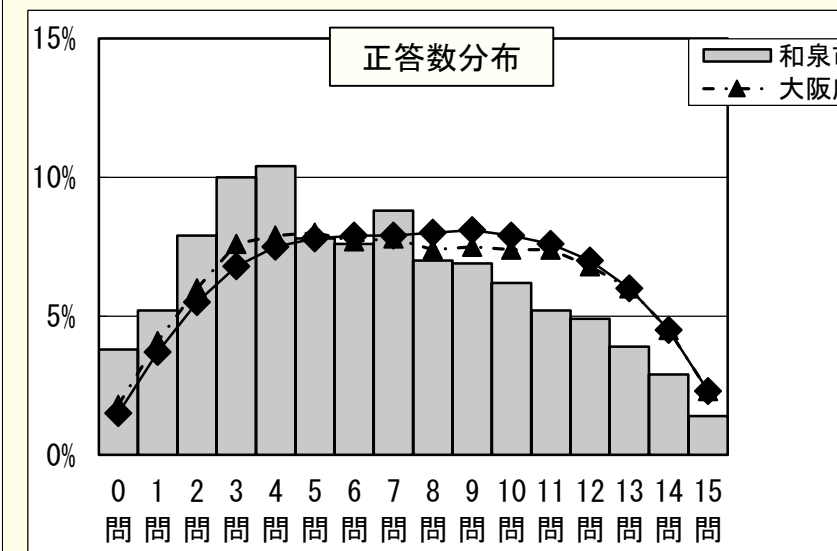
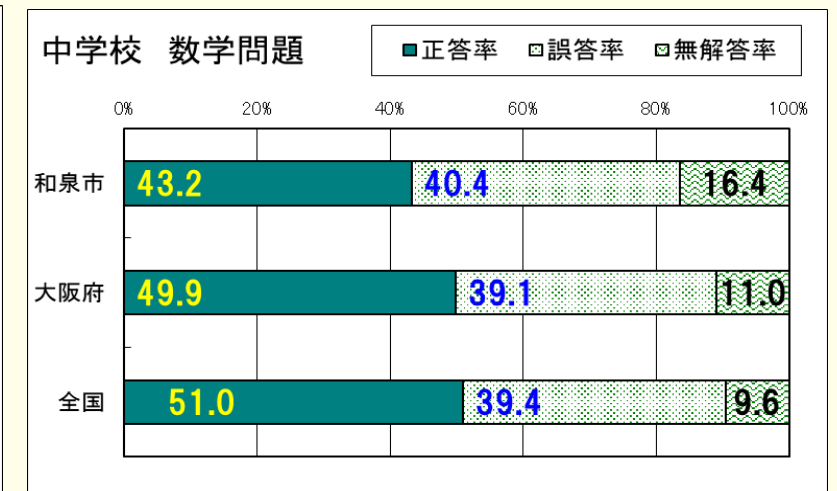
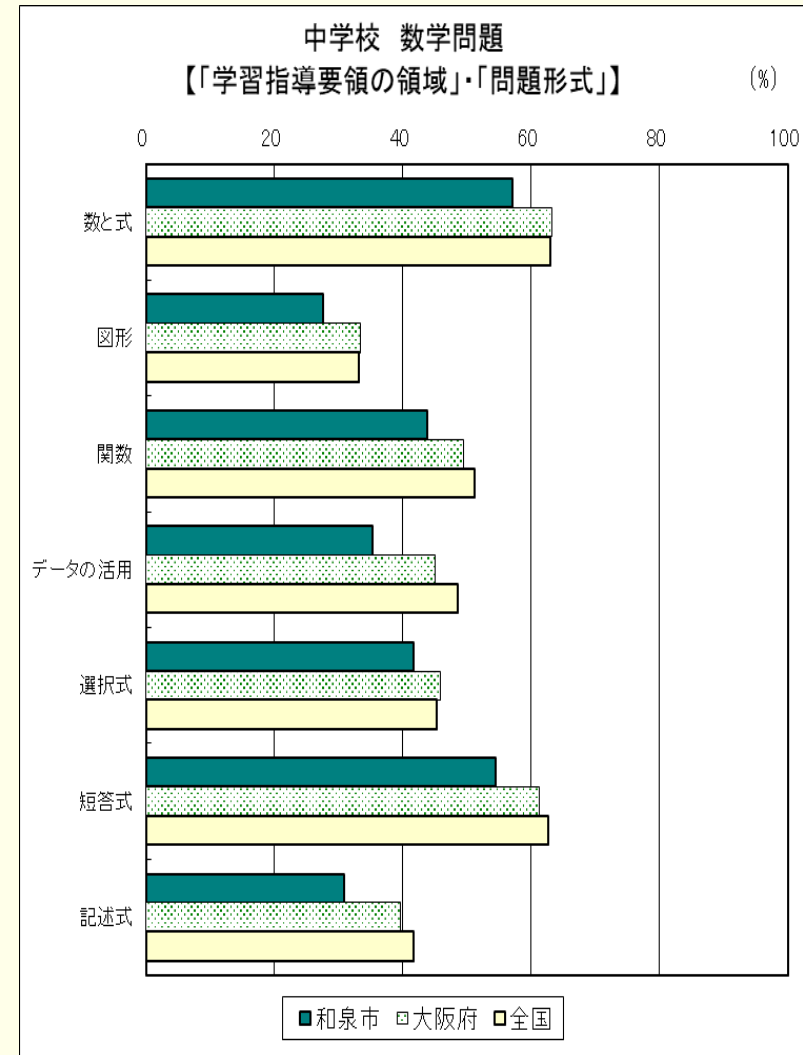
中学校 国語

- 平均正答率は、63.5%で全国を6.2ポイント下回り(対全国比0.911)、府を4.5ポイント下回った(対府比0.934)。
- 記述式の問題の無解答率が特に高く、課題がある。正答率では「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」が特に低い結果となった。
- 正答数分布の様子は全国の状況と同傾向であるが、13問の頂点が低く、左に偏っている。



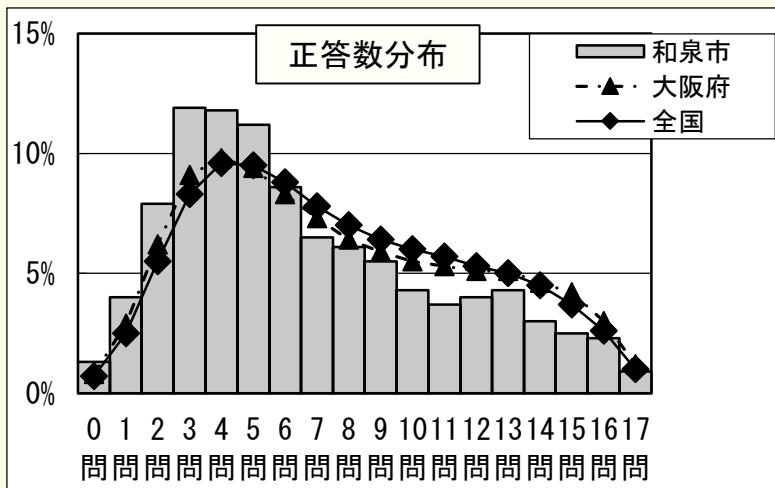
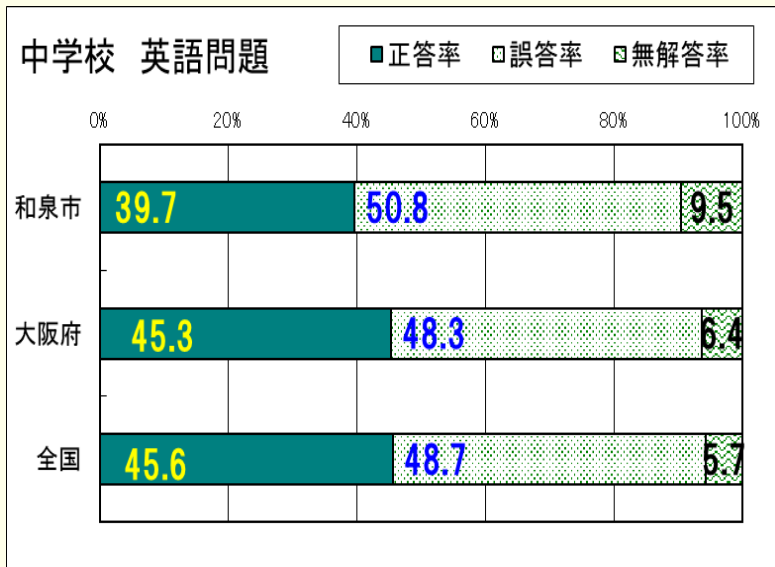
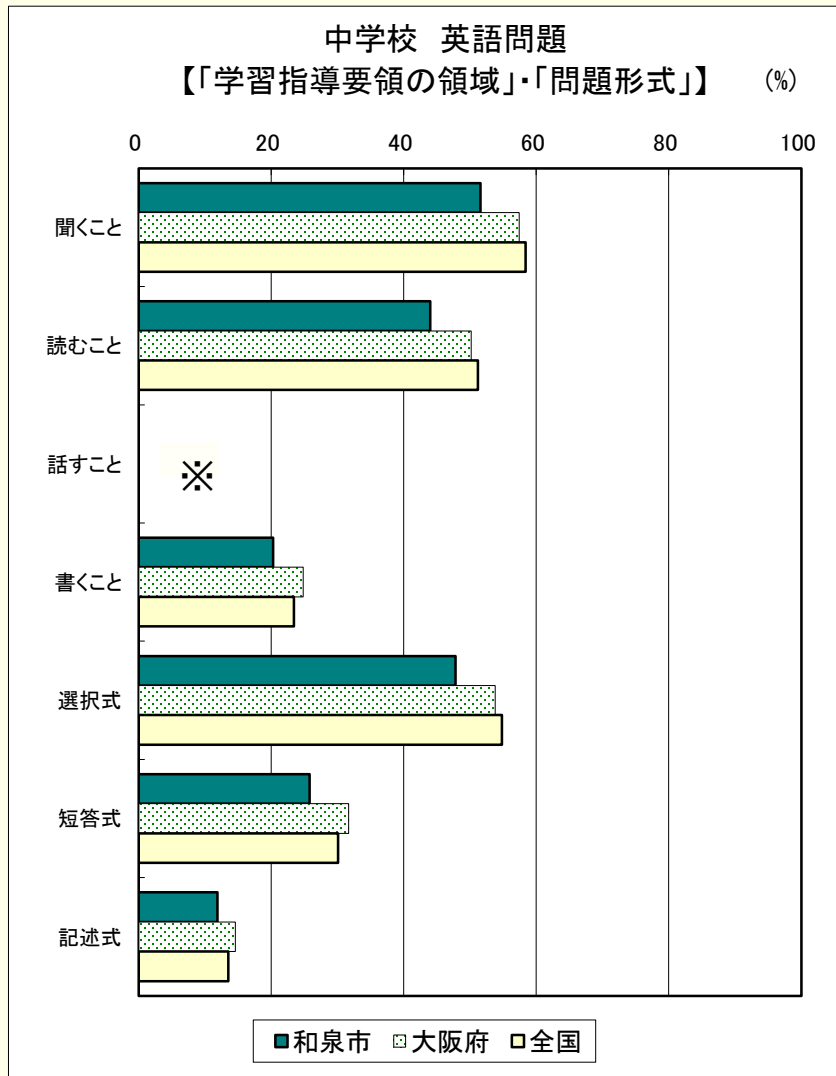
中学校 数学

- 平均正答率は、43.2%で全国を7.8ポイント下回り(対全国比0.847)、府を6.7ポイント下回った(対府比0.866)。
- すべての領域において正答率が低い。特に「記述式」の問題形式では、無解答率が高く、大きな課題がある。
- 正答数分布の様子は全国の状況と異なり、左よりの山型を描いている。正答数が0~4問の生徒の割合が府や国よりも高い結果となった。



中学校 英語

- 平均正答率は、39.7%で全国を5.9ポイント下回り（対全国比0.871）、府を5.6ポイント下回った（対府0.876）。
- 全国と比較すると全ての領域・問題形式で平均正答率が低くなっており、無解答率の高さも課題が見られる。
- 正答数分布の様子は全国の状況と同傾向で左よりの山型を描いている。正答数が0問（全問不正解）、17問（全問正解）の生徒は府や全国とほぼ同程度であるが、特に3問～5問の割合が高い。



※「話すこと」調査の結果は全国から抽出された当日実施校の結果のみ公表されます。
（和泉市の当日実施校はありません）